

授業科目名	政治学特論（地域研究Ⅰ）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	地域研究の方法と異文化理解	担当者	菊島 啓			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>本講義では、地域研究の視点と方法について概説する。地域研究は、ディシプリンが確立している学問とは言い難く、その過程の段階にあるといえる。過渡期の学問とはいえ、その重要性は決して少なくない。比較文化を通して自他を理解することに努める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>多様な価値観を持つ異文化の理解を求めて、自文化中心主義に陥らないような価値観を培うことに主眼を置く。</p>					
履修条件	私語を慎み、真面目に受講すること。					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>特になし</p> <p>【参考書】</p> <p>中村尚司・広岡博之『フィールドワークの新技法』（日本評論社、2000年）</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、地域研究とは					
2	地域研究の現況、わが国における地域研究の歴史					
3	国家と地域、地域概念					
4	地域研究の目的と方法					
5	地域研究の意義と本質、文化相対主義					
6	異文化理解と日常性の文化					
7	地域研究者が備えるべき要件、手法としてのフィールドワーク					
8	文化の伝播、文化変容と文化変化					
9	宗教と文化、言語と文化					
10	比較文化1：ヒンズー社会					
11	比較文化2：イスラム社会					
12	比較文化3：仏教社会					
13	比較文化4：儒教社会、道教社会					
14	比較文化5：日本社会					
15	総括と補足					
評価方法	平常点（出席と受講態度）20%、定期試験 80%の総合評価、ただし受講生の人数等の関係で定期試験に替えてレポートないし、その他の方法を取ることがある。その場合講義中に説明する。					
評価基準	上記授業内容について、積極的に授業に参加し、十分その内容を理解した者には「A」、また、その程度によって「B」ないし「C」を与える。授業参加および理解度が著しく低い場合は、その程度によって「D」または「E」とする。					
その他	特になし					